



オプトマウス グランツHR取扱説明書

MA-G3シリーズ



GlanzHR

(カウント切替え)

最初にご確認ください

セット内容

マウス本体	1台
変換アダプタ	...	1個
コネクタキャップ	1個	
取扱説明書	1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- はじめに
警告
・テレビ/ラジオの受信障害について
・注意
- 保証規定
対応機種・対応OS
- 接続する前に必ずお読みください。
・本製品をUSBポート接続する際の注意
・BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合
- ハードウェアのインストール(Windows用)
・USBポート接続の場合
・PS/2マウスポート接続の場合
- ハードウェアのインストール(Mac OS X用)
- 本製品の使用方法
・左ボタン・右ボタン
・ホイール(スクロール)
・ホイールボタン(スクロールボタン)
・ズーム
・1600～200カウント切替え

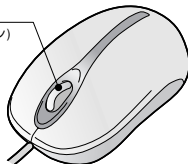
はじめに

このたびは、オプトマウスグランツHR(カウント切替え)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、ボールを使わないオプティカル方式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボールを使わないので、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。本製品はマウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単に画面スクロール等が行えます。

また本製品は、1600~2000カウントの解像度切替えが簡単に入りますので、インターネットやドキュメント作業からグラフィックや写真画像の編集まで、幅広いナビゲーションに対応します。

ホイールボタン
(スクロールボタン)



ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。
また、お手元に置き、いつでも確認できる様においてください。

警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認ください。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。

テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。

状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

1

保証規定

1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。

2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。

保証書をご提示いただけない場合。

所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

故障の原因が取り扱い上の不注意による場合。

お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。

天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。

3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。

4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。

5)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。

6)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

7)保証書は日本国内においてのみ有効です。

対応機種・対応OS

対応機種

Windows搭載/パソコン

各社DOS/V/パソコン、NEC PC98-NXシリーズ

Apple iMac, iBook, Power Mac G5/G4/G3シリーズ

USBポート(Aタイプコネクタ)もしくはPS/2マウスポートを持つ機種。

PS/2接続の場合は、内蔵ポインティングデバイスとの併用はできません。内蔵ポインティングデバイスを使わない様に設定できない場合は、USB接続してください。

対応OS

USB:Windows XP・2000・Me・98SE・98及びMac OS X(10.2以降)

Mac OS X(10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、テキストパ

ッド及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。

またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

PS/2:Windows XP・2000・Me・98SE¹⁾・98¹⁾・95¹⁾・NT4.0(SP3以降)¹⁾

¹⁾ IntelliMouse機能(Office 97など)を持たないアプリケーションでスクロール機能をご使用になれる場合は、当社ホームページ<http://www.sanwa.co.jp/>よりドライバをダウンロードしてください。

機種により対応できないものもあります。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

2

接続する前に必ずお読みください。

本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindows等において自動認識され使用可能となります。もし、本製品が正常に動作しない場合、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合

BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが、詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

3

ハードウェアのインストール (Windows用)

注意:ハードウェアをインストール前に他のアプリケーション等を外しておくことをお薦めします。

マウスの接続

本製品は、USBインターフェイス及びPS/2マウスインターフェイスに対応したコンピュータタイプのマウスですので、接続には二通りの方法があります。

・USBインターフェイスによる接続

- 1.コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
- 2.本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。(続きは5ページ)

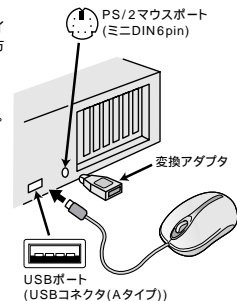
・PS/2マウスポートによる接続

PS/2マウスポート接続の場合、注意していただきたい事項がありますので、7ページを参照の上、接続してください。

- 1.コンピュータの電源を切ってください。
- 2.コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。
- 3.付属の変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。
- 4.コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。

詳細な設定については、後ほど説明します。
接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

一部の富士通FMVノート、IBM ThinkPadなどボイティングデバイス内蔵の一部のノートパソコン(排他制御機能のないタイプ)及びNEC PC98-NXデスクトップパソコンなど(USBキーボードにPS/2マウスポートが付いているパソコン)には、USBポート接続により対応しています。マウスをパソコンに接続した際、またはパソコンを立ち上げた際、マウス裏面のLEDが3回発光しますので、その間はマウスを動かさないでください。



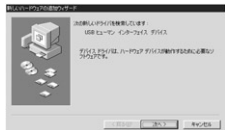
4

ハードウェアのインストール (Windows用)(続き)

USBポート接続の場合

コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
本製品を、コンピュータのUSBポートに接続します。
自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。
あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。
Windows XP・2000・Meは、下記インストール方法と多少異なり、タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

新しいハードウェアの追加ウィザード



新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス…… 次へ



検索方法を選択してください。
• 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)…… 次へ

5

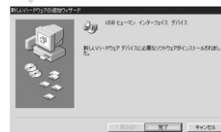
ハードウェアのインストール (Windows用)(続き)



新しいドライバはハードドライブのデータデースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(✓)を入れずに…… 次へ
もし、検索場所を聞いてきたら、✓ 検索場所の設定(L)
C:¥WINDOWS¥INF
もしくは、C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS
もし、上記の検索場所で見つからない場合は、
CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、✓
CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス…… 次へ



USBヒューマンインターフェイスデバイス…… 完了

6

ハードウェアのインストール (Windows用) (続き)

PS/2マウスポート接続の場合

マウスを接続する前に、内蔵ポインティングデバイスの切り離しを行ってください。
タッチパッド等のポインティングデバイスは、外付けPS/2スクロールマウスと併用することはできません。
代表的な設定の例を下記にて説明しますが、詳細につきましては、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合

1. 起動時、NEC ロゴ等が表示されている時に「F2」キーを押してください。
2. 詳細 NX/パッドを自動にしてください。

以前の機種では、使用する/使用しないの選択項目になっていますので、「使用しない」にしてください。
ソニー VAIOシリーズの場合
コントロールパネル Notebook Setupにてタッチパッドを使用しないように設定してください。
東芝 Dynabookシリーズの場合
スタート プログラム 東芝ユーティリティあるいは、
ハードウェアセットアップ ハードオプション ポインティング装置で自動あるいはオフにしてください。
IBM ThinkPadシリーズの場合
ThinkPadユーティリティでトラックポイントを使用しないに設定してください。

コンピュータの電源を切ってください。
コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。
付属の変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。
接続方法については4ページを参照してください。
コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
これで、マウスは使えるようになりました。

ハードウェアのインストール (Mac OS X用)

コンピュータの電源を入れ、Macintoshを完全に起動した後、本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。自動的にハードウェアの検知が行われますので、そのままご使用になれます。

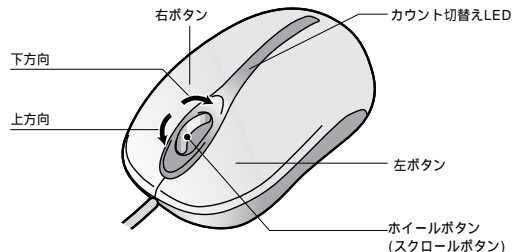
7

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。

本製品は、Microsoft IntelliMouse互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。

また本製品は、1600～200カウントのカーソルスピード切替えが簡単に行えますので、インターネットやドキュメント作業からグラフィックや写真画像の編集まで、幅広いナビゲーションに対応します。



左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

8

本製品の使用方法(続き)

ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。

「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

1600～200カウント(カーソルスピード)切替え

ホイールボタンと右ボタンを同時に1秒間程度押すと、分解能を400 800 1600 200カウントに切替えることができます。また現在のカウント数をカウント切替えLEDで確認できます。1600カウントはレッド、800カウントはパープル、400カウントはブルー、200カウントはグリーンになります。(パソコン立ち上げ時は、常に400カウントの設定になります。)

インターネットや広い画面での作業など、カーソルの移動量が大きな時は、手首一振りでの画面の端まで移動可能な1600カウントもしくは、800カウントが便利です。省スペースでマウスの大きさを選ばず、スピーディーで快適な作業を実現します。

グラフィックや写真画像の修正など、細かい作業の時は、カーソルの位置が思い通りに決められる、精度にこだわった200カウントもしくは、400カウントが便利です。

カウント切替え方法

ホイールボタンと右ボタンを同時に一秒間程度押してください。